

町の生活情報紙  
- HIDE PUBLIC RELATIONS -

広報

いっいで

5

14, May  
2009  
Vol.986



特集◎  
このまちの  
交通安全を問う

# 特集◎ このまちの 交通安全を問う



4月6日、峯村京佑くん（5歳・黒沢）は後藤町長を訪れ、「交通事故のない安全なまちづくりをお願いします」と交通安全メッセージを読み上げた。  
春の交通安全運動の一環として行われたものである。  
子どもたちが願う交通事故のない町にするには私たちがどのようなことに気をつければよいのだろうか。

- 第1章 町を取り巻く交通安全の現状
- 第2章 検証①交通事故から子どもを守る  
検証②増加する高齢者ドライバー
- 第3章 スペシャリスト・インタビュー  
交通安全は自らの手で



### 03 特集 このまちの交通安全を問う

町を取り巻く交通安全の現状／交通事故から子どもを守る／増加する高齢者ドライバー／インタビュー

### 12 平成21年度 地区公民館の事業計画

中部地区公民館／白樺地区公民館／東部地区公民館／西部地区公民館／中津川地区公民館

### 14 まちの「にぎわい」に向けて針路をとれ

にぎわい再現プロジェクト委員会

### 16 萩生地区ごみゼロアクションプラン結果報告

### 18 まちかどNEWS

四季の歌“春うた”を歌う集い／町消防団辞令交付式／中津川地区水仙ロード手入れ作業ほか

### 20 直伝おふくろの味

### 21 子育てファイル／あ～す図書室情報

### 22 まちの話題

米沢牛枝肉共励会で長岡利英さんが最優秀賞／町部落長会総会

### 23 リレーエッセー校長室便り／随想町長の見て歩き

### 24 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記

### 26 いいで夜空物語

### 28 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～

### 町のホームページから

## さらに情報を！

町からのお知らせ情報は、  
飯豊町ホームページ [www.town.iide.yamagata.jp](http://www.town.iide.yamagata.jp)  
でも紹介しています。

知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページの検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ簡単に移動することができます。

こちらのボックスに「検索キーワード」を打ち込んでください。



### 表紙

## 今月の親子

添川在住

高橋 美さん (30歳)

美穂さん (31歳)

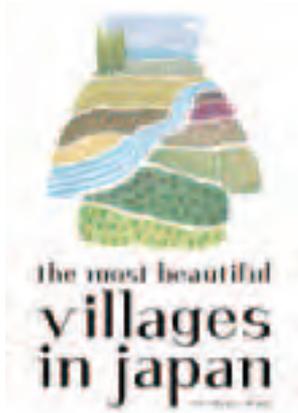
拓夢くん (3歳)

優希くん (9ヶ月)



左から美穂さん、優希くん、実さん、拓夢くん

4月中旬の好天の日。酪農と稲作を営む高橋家では、家族みんなで協力して田植えに向けた種まきです。実さんは「家族と一緒に仕事ができるということは幸せなことだと思います」と語ります。じいちゃん、ばあちゃん、おはんちゃとみんな若い夫婦の仕事と子育てを助け合っています。



飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。



人生を狂わす飲酒運転  
私も絶対に許しません

写真/さかい食堂店主の島貫栄作さん(萩生)。飲食店の責任として、お客様に「飲んだら乗らない」の呼びかけを徹底しているという

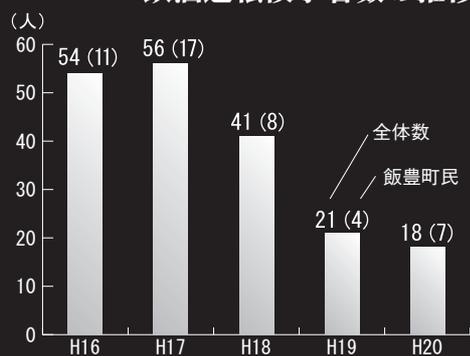
## 後を絶たない悪質な飲酒運転 6月1日から行政処分を強化

山形県警が定期的に公表する「市町村居住地別交通違反・交通事故ワースト順位」。平成20年12月末日現在のものには、またしてもワースト第1位に飯豊町の名前があった。飲酒運転検挙者数である。免許保有者数1万人あたり12.48人で、同じ警察署管内の長井市は4.03人、白鷹町は2.77人であるから、いかに突出した数字かがわかる。

このような現状にあって、6月1日から道路交通法の一部改正が施行され、悪質な飲酒運転に対してさらに厳しい行政処分が下される。飲酒運転の違反点数が大幅にアップし、「一発免許取り消し」となるケースを高めたのである。さらに酒酔い運転で死亡事故を起こし、ひき逃げすれば、最長10年間免許を受けることが不可能になる。

ひとたび飲酒運転をすれば免許は取り消しとなり、交通手段を奪われ、同時に仕事も失うことになりかねない。飲酒運転は、人生を大きく狂わせてしまう。そのことを肝に銘じなければならない。

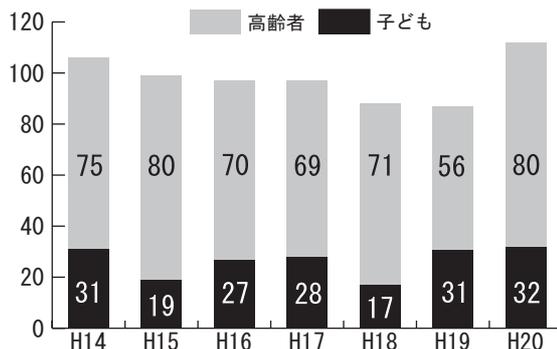
### 長井警察署管内 飲酒運転検挙者数の推移



資料提供/長井警察署交通課

### 長井警察署管内における子どもと高齢者の被害者数の推移

資料/長井地区交通安全協会ほか「交通事故の実態」(平成15年~20年版)



#### 高齢者の被害が急増 子どもの被害も微増

交通事故の被害者の内訳を見てみると、平成二十年中の事故では、圧倒的に高齢者の被害が多く(八十名)、ついで若年(四十六名)、子ども(三十二名)の順となっている。とりわけ高齢者が被害者となった事故は、平成十九年と比べて四割以上も増加した。過去六年間を見ても高齢者の被害者数は、ほかの年齢層に比べて高い水準にある。さらに、警察庁の「交通事故統計(平成二十一年二月末)」によれば、全国的に高齢者が死者

または重傷者となるケースが高いという。死傷者数を年齢層別・被害程度別に見ると、高齢者の構成率は、軽傷者では一二・〇割であるのに対して、重傷者では三〇・〇割、死者では半数近い四八・五割となり、被害程度が深刻になるほど高齢者の構成率が高まっているのが現状である。子どもが巻き込まれる事故も後を絶たない。長井警察署管内の交通事故においては、平成十五年から子どもの被害者数が微増している。チャイルドシートとマナーの着用や交通ルールとマナーの教育など、基本的なものをまだまだ徹底

する必要があるようだ。社会的弱者である子どもと高齢者を交通事故から守ることは、私たち運転者の緊要な課題である。

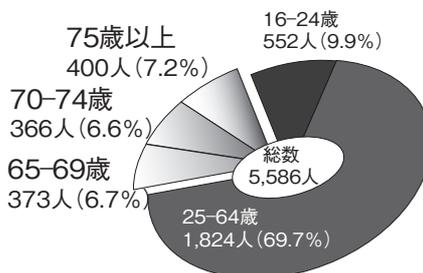
最後に、全国的な傾向とも言える交通事情の変化について触れておきたい。

それは高齢化社会に伴っての高齢者ドライバーの増加である。平成二十年十二月末において、町の年齢層別運転免許保有者を見ると、六十五歳以上の運転免許保有者は全体の二割以上に達している。

#### 増える高齢者ドライバー 交通事故は変化している

### 町の年齢層別運転免許保有者数

資料提供/長井警察署交通課  
(平成20年12月末現在)



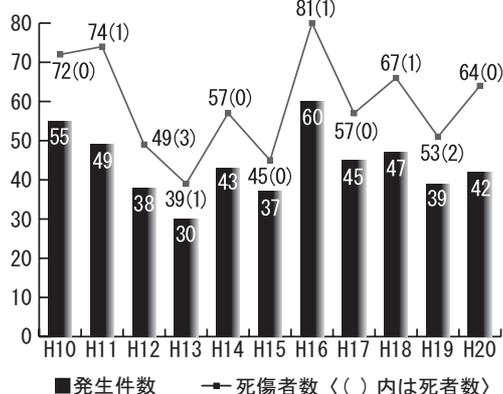
三人に一人が高齢者という時代が間近に迫って、今後も高齢者ドライバーが増えることはだれもが予測できる。「車社会も高齢化」していることを認識して、私たちは交通安全に努めなければならない。

# 第1章 町を取り巻く 交通安全の現状

1日平均14.08人。平成20年中の交通事故による全国の死者数である。1時間42分に1人が交通事故で尊い命を奪われていることになる。本町の交通事故発生状況はどうか？そして交通事情はどのように変化しているのか？

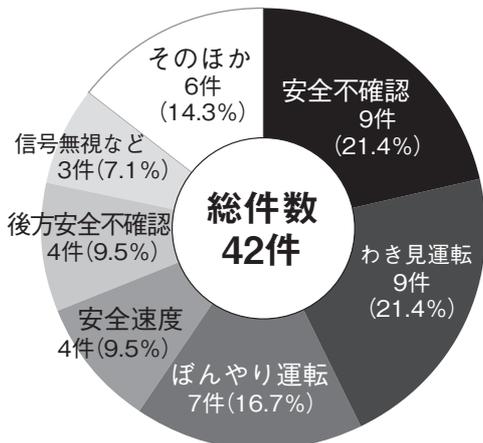
## 町内の交通事故件数と死傷者数の推移

資料提供／長井警察署交通課



## 平成20年中の町内交通事故の主な原因

資料提供／長井警察署地域課飯豊駐在所



**減らない交通事故件数  
本町では昨年42件発生**

長井警察署地域課飯豊駐在所の集計によると、平成20年中に起きた町内での人身交通事故は四十二件。死亡事故はなかったものの、負傷者は六十四名にものぼる。

同じ人口規模の町ではどのくらい交通事故が発生しているのか。\*西村山郡朝日町の総務課防災係によると、同町での昨年の人身交通事故発生件数は二十三件。本町のおよそ半分である。

件数もさることながら問題は、町内での交通事故が一向に減る傾向にないということである。過去十年の統計を見

ると、事故件数はおよそ四十件台を、死傷者数は五十人台の増減を繰り返しているに過ぎない。

**事故原因の大半が  
運転者の不注意**

警察や交通安全にかかわる団体の懸命な安全運転、交通ルール遵守の呼びかけにもかかわらず、なぜ事故が減らないのか。その原因を探る手がかりとして、町内の交通事故の形態を見てみたい。

まず事故の発生時間だが、四十二件の事故のうち、意外なことに視界の悪い夜間の時間帯はわずか一件しか起きていない。次に視界の悪い夕刻でもたった五件。あとの残り

すべては昼間なのである。長井警察署管内全体でも約八割は、昼間に起きた事故であった。交通量の多さを差し引いてもその多さに驚く。

視界の良い昼間に交通事故が集中するというのは、どういうことなのか。

左の「平成20年中の町内交通事故の主な原因」のグラフを見るとその理由は明らかに。事故原因の半分以上は「安全不確認」「わき見運転」「ぼんやり運転」で占められている。つまりそのほとんどが「見るべきところを見ていなかった」という運転者の単純ミスによるものなのである。その結果、追突事故、出会い頭事故などを招いたのである。

\*朝日町の人口／8,304人（平成21年3月31日現在）  
飯豊町の人口／8,393人（同上）



写真/事故現場の市道。見通しの良い直線道路で事故は起こった

## 南陽市教育委員会の対策

平成19年9月20日早朝、南陽市赤湯地区内の市道で、運転手の過失により集団登校中の児童が犠牲になる痛ましい事故が発生した。

通学路での予測の範囲を超えた事故。今後どのように無防備な児童生徒を守ったらよいのか。

事故後、南陽市教育委員会は速やかに通学路の再点検を行った。その結果を持ち寄り、同月26日に市小中学校通学路安全対策連絡協議会を開催。会議では、次の3つの視点から事故防止策を進めることを確認した。①関係機関などと連携した危険箇所の改善、②児童生徒の危険予測・回避能力を高める安全教育の充実、③市民一人ひとりの日常的な交通ルールの遵守と交通モラルの向上。

さらに市民の間でも、市民大会において「交通事故から子どもを守るための緊急アピール」を行うなど、交通安全に対する機運が高まった。

現在も市教育委員会は小中学校とともに通学路の危険箇所の点検を怠っていない。気づいたことは速やかに国道・県道・市道の管理者に改善を要望する。また、事故に遭った同じ地区の児童たちは、保護者の要望などもあり、現在もタクシーによる通学が続いている。



添川小交通安全教室の様子

学校だけでは教えきれないことはたくさんある。学校を離れば目も行き届かない。日ごろから家族が繰り返し交通ルールとマナーを教えることで、子どもははじめてそれをマスターするのである。

「子どもを自転車に乗せるか、乗せないかを最終判断するのは家庭にお願いしています。わが子が安全に公道を走れるかを見極めて、必要とあればしっかりと交通ルールとマナーを教えてあげて欲しいのです」

## KEY PERSON ◎ INTERVIEW

山形県交通安全母の会連合会会長  
町交通安全母の会会長

## 伊藤喜和子さん

### 朝の声かけにもう一声付け加えて

町交通安全母の会では、交通安全協会や長井警察署など関係する皆さんと協力し、交通安全の向上を目指し活動しています。

その中でも当会の独自事業として一昨年前から、小学4年生を対象に、子どもたちが家族に向けて交通安全に関する手紙を書く「ハートフルメール」を行っています。これは、家庭内で交通安全を話題にしてもらうために始めた事業です。まさに「交通安全は家庭から」の実践と言えます。

子どもが交通事故に巻き込まれるケースの大半は、

道を横断しようとしたときに起きたものです。ですから、保護者の皆さんには、お子様に対して「しっかり止まって左右の確認」を徹底させてください。ただし、大人がその手本をしっかり示さないといけません。子どもは、親が交通ルールを守っているのを見て覚えるということをお忘れなくください。

また、子どもを家から送り出すときの声かけはとても大切です。「気をつけてね」が普段の声かけだとすれば、具体的に何に気をつけるかを付け加えてください。「風が強いから」「あそこで工事をしているから」その一言を加えるだけで、事故防止の効果は上がると思うのです。



## KEY PERSON ◎ PROFILE

いとう・きわこ  
1943年10月、山市生まれ。72年町交通安全母の会会員となる。99年4月より同会会長に就任。05年4月置賜地区連合会会長および県連合会副会長に就任。今年4月の県連合会理事会にて県連合会長に選任された。「交通安全は家庭から」をモットーとして日々交通安全の啓発活動に務めている。趣味は音楽。黒沢在住

を学んだ。  
この教室の目的について渡部恭子校長は「交通ルールとマナーを身につけて、自分の命は自分で守るという気持ちを持つてもらいたい」と話す。  
先生、長井地区交通安全協会飯豊東部支部役員、県・町交通安全専門指導員が分担し、子どもたちの指導にあたる。ときには先生の厳しい声が響くときもある。それは、この授業が子どもの命にかかわるからこそである。渡部校長は次のように話を続けた。



写真／白樺子ともネットパトロール隊に見守られて登校する第二小の児童たち

## 第2章／検証① 交通事故から 子どもを守る

「町の宝」である子どもを交通事故から守るためには、家庭・地域・学校が連携し、より安全な環境づくりを目指さなければならない。それぞれが、どれ一つ欠けてはならない重要な役割を持っている。

### INTERVIEW

## 子どもたちの交通安全のために…

白樺子ともネット安全パトロール隊

### 鈴木光子さん（椿）

夫と共に白樺子ともネットに参加しています。毎朝の見送りは、子どもたちの元気な顔を見ると全然苦になりません。道路の横断の誘導では、子どもたちはとても素直に言うことを聞いてくれます。安全な地域づくりのために今後も続けていきます。



Suzuki Mitsuko

長井地区交通安全協会飯豊東部支部長

### 二瓶勝巳さん（添川）

交通安全協会飯豊東部支部では、毎年春に行われる添川小交通安全教室に協力しています。児童たちの歩行と自転車での交通ルールの指導などをお手伝いしています。また、日ごろから通学路に危険箇所はないか、目を光らせるようにしています。



Nihei Katsumi

町スクールバス運転手  
(飯豊町車両運行業務共同企業体)

### 渡部高司さん（黒沢）

家族の皆さんにお願いしたいことは、バスがいるときは、お子様の手を決して離さないでつないでいて欲しいということです。運転席からは目の届かない死角が多いのです。今後とも安全運転を最優先しますので、ご協力をよろしくお願いします。



Watanabe Takashi

### 人と組織をフル活用 白樺子ともネット

午前七時三十分、椿地区の涌沼神社付近の一角には、椿第一部落の児童が集団登校のために集まって来る。見送りに来た若いお母さんに混じって、黄色のベストを着た鈴木光子さん(六)の姿が目立つ。着用しているのは白樺子ともネット安全パトロール隊のユニフォームだ。鈴木さんの役割は、孫二人を含む八人の児童を信号機のある十字路までしっかりと見守って学校へ送り出すこと。

鈴木さんのように登下校の

時間帯の見守りや通学路の巡視などを行うパトロール隊員は、今年度は校区内で十五名登録している。そのほとんどが児童の祖父父母であり、志願したボランティアだ。

また、白樺子ともネットは、児童の祖父父母だけではなく、校区内の各種団体を会員として取り込み、その組織力をフル活用している。その一例として昨年は、PTA全会員が年三回、交差点や学校の前に立ち、子どもたちの登校の安全を見守る「いつてらっしゃい運動」を展開。さらに、白樺子ともネット委員からの情報をもとに校内の「自転車乗

り危険箇所」を集約し、先生と子どもたちが実際にその場所に行き、どこが危険かを確かめる、現地交通指導が行われた。

平成十八年の設立以来、白樺子ともネットは、子どもの交通安全を確保する上で、大きな役割を果たし続けている。

### 子どもに徹底して教えた 交通ルールとマナー

一方、添川小学校では四月十七日、交通安全教室が行われていた。一年生は歩行のルール、二・三年生は自転車の乗り方、四・五・六年生は公道での自転車乗りのルール

# 運転を「する方」と「引退した方」にお話を聞きました

現役  
ドライバー  
79歳

## いとうこうぎ 伊藤幸儀さん

1929年10月生まれ・数馬・農業

### 運転免許がなければ 生活ができなくなる

農業を営む私にとって、自動車運転ができなくなれば収入を絶たれることにもつながります。また、住んでいる中津川の地理的条件を考えれば、買い物や病院など日常生活に支障をきたすことにもなります。

運転をするとき気をつけていることは、制限速度を守り、静かに走ることです。そしてしっかり止まって左右を確認するようにしています。

高齢になれば、体力や反射神経も若いときのようにはいきませんので、そこを自覚して、繁華街の運転を避けるなど、自分の運転できる範囲を守ることが大切だと思っています。毎日の生活がありますので、健康なうちは運転を続けたいと思っています。



運転引退  
80歳

## いとうにろう 伊藤二郎さん

1928年9月生まれ・椿・無職

### 大事が起きてからでは 遅いと引退を決断

昨年10月に運転免許証の更新時期を迎え、更新しないという決断をしました。運転免許がなければ生活は不便になるだろうということは想定できましたし、家族も「本当にいいの？」と心配してくれました。しかし、自分の年齢を考え、万が一事故を起こして人様に迷惑をかけたなら取り返しがつかなくなると考えたのです。

個人差はあるのですが、年をとると、無意識に一時停止を怠ってしまったり、スピードを出しすぎたりすることがあります。それを恐れての私なりの勇気のいる決断でありました。

今は、近所にはセニアカーで移動し、買い物などは家族と一緒にしています。



## 高齢者ドライバーの皆さんへ

町交通安全専門指導員

## しまぬきようこ 島貫庸子さん

### 自分の運転の特性を しっかり認識して

最近では若葉マークよりもみじマークを多く見かけます。平日の日中、スーパーやホームセンターの駐車場で多く目にします。明るい時間帯の自動車利用ではありますが、事故が多く発生しています。

加齢や体力・運動能力の衰えにより、危険を避けるための機敏な動きができないのに、無理して運転している人も多いようです。背景には車がなければ買い物や病院に行けないなど不便になるからのようです。

今、高齢者の運転による事故が多発しています。特に危険に直面したときのアクセルやブレーキの操作ミスによるものが目立っています。満70歳以上の免許更新の際に義務付けられている「高齢者講習」を受けて、自分自身の運転特性をよく理解して、安全第一の運転を心がけて欲しいと思っています。



## 運転を引退なされた皆さんへ

デマンド交通ほほえみカー  
オペレーター

## おがさわらともみ 小笠原朋美さん

### どうぞほほえみカーを ご利用ください

平成21年3月末現在で、1,325世帯、4,200名の町民の方にはほほえみカーの会員登録をいただいています。お客様の中心は高齢者の方で、公立置賜総合病院へのご利用が多いようです。

今年4月から中津川線乗り換えの解消やお得な回数券の販売などを始めました。さらに、5月からは高齢者の方を対象に、ほほえみカーと町内温泉施設を安く利用できるサービスを始めました。

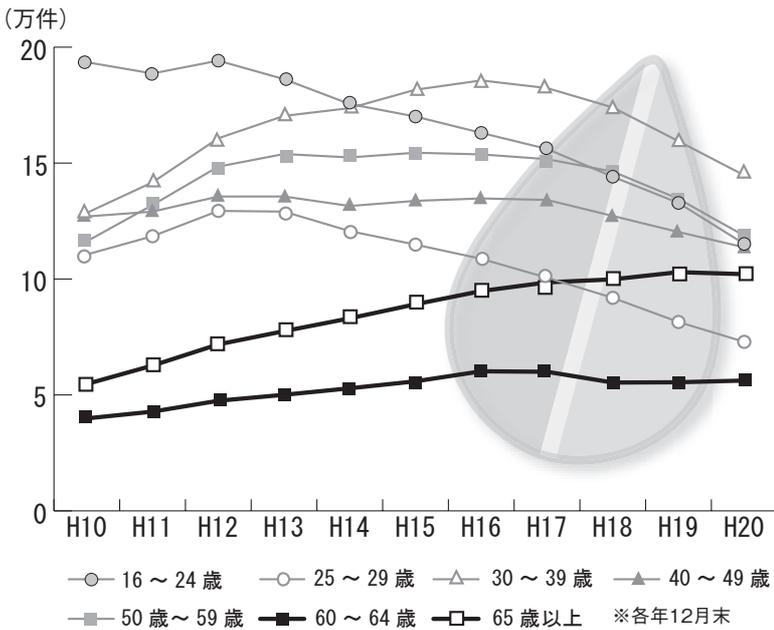
このように、できることから改善しながら、サービスの向上に努めています。皆様のご利用をドライバーともどもお待ちしております。



ほほえみカーのご利用のお問い合わせ  
☎ 86-2220

## 原動付自転車以上運転者(第1次当事者)の 年齢層別交通事故発生件数の推移

資料/警察庁交通局交通企画課「交通事故統計(平成21年2月末)」



## 第2章/検証② 増加する 高齢者ドライバー

高齢化社会が進行する中で、高齢者ドライバーが急増している。交通手段のほとんどを自家用車に頼る本町。高齢化する車社会とどう付き合うのか考える時期にさしかかっている。

高齢者ドライバーの急増ととも、高齢者ドライバーが加害者となる事故が急増している。上のグラフのとおり、警察庁の「交通事故統計(平成二十一年二月末)」によると、全国で平成二十年中に高齢者ドライバーによる交通事故は約十万二千件発生しており、平成十年(約五万五千件)と比較すると一・八七倍である。七十五歳以上にいたっては、二・七五倍にも増えている。

長井警察署管内においても、高齢者ドライバーによる交通事故件数は、平成十九年が五十八件だったのに対し、平成二十年は七十一件と二割以上

も急増した。

運転免許証自主返納  
社会人としての決断も

高齢者ドライバーによる交通事故が急増しているからと言って、すべての高齢者から運転免許証を返納してもらうことは現実的ではない。仕事や買い物、通院など日常生活に支障をきたす方も多くいらっしゃる。

高齢者ドライバーには、交際ルールとマナーの徹底はもちろんのこと、自分の体力や健康状態に合った運転を心がけてもらうほかにない。

ただし、視力や聴力、筋力などの著しい低下によって安全な運転ができないと自覚したときは、「高齢者講習」前

あっても長井警察署交通課などに相談し、社会人の責任として運転免許証の返納を決断しなければならぬ。

一般ドライバーはゆとりとゆずり合いの気持ちを

高齢者(もみじ)マークの車にイライラしたり、ひやりとしたことは一般ドライバーならだれでも経験したことがあるだろう。そのときの冷静な対応こそが、これから求められる車社会のあり方である。従来も交通安全のためには「ゆとりとゆずり合い」が大切とされてきた。そしてそれが高齢化社会に突入し、さらに重要になったことを、私たち一般ドライバーは認識したい。

### 75歳以上の免許更新者の方へ 「講習予備検査」が始まります

6月1日から  
スタート

6月1日から75歳以上の免許更新者を対象に、講習予備検査(認知機能検査)が導入されます。その後、この検査の結果に基づいた「高齢者講習」を受けることになります。

講習予備検査の目的は、高齢運転者の皆さんの安全運転を支援することです。

もしも判断力・記憶力が低くなっていることがわかった方が、信号無視、一時不停止などの交通違反を起こした場合には、専門医の診断を受けます。その結果、判断力や記憶力に問題があるときや、臨時適性検査を受けなかったときは、免許の停止や取り消しなどの処分を受けることがあります。

◆問合せ先/長井警察署交通課 ☎ 84-0110

### 運転免許証自主返納を支援します

町では、運転免許証を自主返納された方に対して、ほぼえみカー利用券や新たな身分証明書として使える住基カードの無料交付などの支援を行っています。

また、ご本人はもとより、ご家族の方からの運転免許証自主返納に関するご相談もお受けしますので、お気軽に下記までお問い合わせください。

◆問合せ先/役場住民税務課生活環境室

☎ 72-2111内線131・133

# 全町民が一丸となって目指したい 死亡事故ゼロ千日達成を！

## 【地域に根ざした活動を推進】

交通安全協会では、支部ごとに役員が中心となり、地域に根ざした交通事故のないまちづくりに取り組んでいます。具体的には、支部の役員が小学校や幼児施設の交通安全教室に参加して子どもたちの指導を行ったり、伝統行事のお祭りの獅子舞では交通安全整理にあたるなどしています。支部ごとに地域の事情に合った交通安全の推進活動に努めています。

全町的な活動としては、白川ダム湖畔マラソン大会やめざまみの里祭りなど、車が多く集まるイベントにおいて各支部の役員が協力し合い、車両や来場者の誘導を行っています。ときには風雨の中、深夜におよぶこともあります。町の交通安全のためにと役員一同精一

杯がんばっています。

また年一回、町内二十軒以上の飲食店などを回り、飲酒運転撲滅のための呼びかけをしています。どうか町民の皆さんには、家族や仲間うちで「飲んだら乗らない」の声を徹底し、飲酒運転の撲滅にご協力ください。私もお酒は大好きですが、強い意志で適量を守り、次の日アルコールが残らないよう最大限の注意を払っています。

## 【死亡事故ゼロを目指して】

私の目標は、飯豊町で死亡事故ゼロ千日達成を果たすことです。渡部孝吉町長時代のことですが、あと数日たら

## 第3章／スペシャリ 交通安全は

日夜、住民の視点に立ち、  
通事故ゼロを目指す2人の

ずで千日達成を逃した苦い経験があります。あのときの悔しさが、今の活動の原動力となっています。目標達成のためには、町民が一丸となって、交通ルールとマナーをしっかり守る以外ありません。

私が車の運転で気をつけていることは、大きな道に出るときは、一時停止の標識がなくても停止して左右確認することです。お年寄りの方で自転車や原付バイクに乗り一時停止をしないで侵入してくる場面を見ることがあります。「慣れている道だから大丈夫」という思い込みと甘さがあるようです。危ないのです、止まるべきところではきちんと停止し、左右の確認を徹底してください。

交通安全協会では今後とも引き続き、交通事故のない、子どもたちが安心して出歩けるような町を目指して活動していきますので、皆さんのご協力をよろしく願います。

## 長井地区交通安全協会副会長 町交通安全協会連絡協議会会長 後藤光栄さん

### PROFILE

ごとう・こうえい●1946年6月、萩生まれ。農業。28歳から長井地区交通安全協会役員となる。02年10月より町連絡協議会会長および長井地区交通安全協会副会長に就任。町内約70名の役員のもとで交通安全の推進に努めている。趣味は盆栽。萩生在住

## 交通安全施設危険箇所パトロールを実施

早期に危険箇所を発見し  
交通事故を未然に防止する

4月30日、町内全域において交通安全施設危険箇所パトロールが行われた。交通安全協会の各支部長や長井警察署員など関係者10名が参加し、各地区から集約された危険とされる道路上の施設20箇所以上を点検した。

このパトロールは毎年実施され、

交通安全上問題があると判断された場合、国・県・町の管理者に改善の要望をし、未然に交通事故を防ぐことを目的としている。参加者の話では「毎年のパトロールの効果が出始め、だんだんと危険箇所は減ってきている」とのことだった。





## 山形県長井警察署交通課 鈴木さよ交通係長

### PROFILE

すずき・さよ●長井警察署交通課所属。1951年5月、高峰生まれ。73年山形県警事務吏員（交通巡視員）拝命。80年小国警察署勤務。97年4月より現職。笑顔で相手の立場に立った職務遂行を心がけている。趣味は手芸（アメリカンフラワー）。高峰在住

パーには自分の肉体的な機能の衰えについて十分に認識して運転に臨んでもらいたいということです。山形県警では車の運転に必要な判断動作や注意力などの診断を行うマイクロバス「交通安全ゆとり号」を整備しています。自分の状態を知る機会となります。出張訪問しますので、地区や老人会などの団体で本署交通課まで申し込みください、ご利用ください。

一般ドライバーの方には「3S」の心がけをお願いします。これは宮崎県で実施されている運動で「SEE（見る）」「SLOW（ゆっくり）」「STOP（一時停止）」を意味します。高齢者ドライバーまたは歩行者を発見したら、「ゆっくり走行して、一時停止し、進路をゆずる」。これが高齢化社会の交通安全で大切なこととなります。ゆとりの気持ちをどうぞお持ちください。

私も一町民として皆さんと一緒に交通事故のない安全・安心なまちづくりががんばりますので、ご協力をよろしくお願いします。

「そこは危ないよ」「早く帰らないといけないよ」と声をかけてあげることが、未然に事故や犯罪から守り、安全・安心な地域づくりにつながると思うのです。

### 【私たちも3S運動を】

高齢者ドライバーが増えていることに関して言うと、まず高齢者ドライバー

ん。特に子どもには何度も繰り返して教えることが大切です。

教えるときは、具体的に教えてあげることが大切です。買い物中の歩行や車の中で、その都度、目にした信号や横断歩道などを示しながら「ここではさちんと止まって左右を見るんだよ」と具体例を示してあげると効果的です。

また、テレビのニュースでは頻繁に交通事故のことが出ます。そのとき目を背けずに「そういう危ないことがあるから気をつけようね」と家族で話題にして話し合い、交通安全の意識づけをすることもよい教育です。

交通安全教育にやりすぎはありません

## 高齢者と子どもには 何度も繰り返し教えることが大切

## スト・インタビュー 自らの手で

現場の最前線で死亡交  
スペシャリスト  
専門家にインタビュー

## 地域交通安全活動推進委員を紹介

警察署や関係機関と連携し  
地域の交通安全の環境づくりを推進

土田達雄さんと小松要一さんは、山形県公安委員会から委嘱をうけて、本町の地域交通安全活動推進委員を務めている。

二人は、長井警察署や関係団体と連携し、街頭での安全運転の呼びかけや飲酒運転の撲滅に向けた啓発活動などに取り組んでいる。

また交通問題相談員の役割も持つ。

「町内で交通安全上問題のある箇所などを発見したら、気軽に私たちに相談ください」と土田さんと小松さんは話す。

町の交通安全は、お二人のようなボランティアの方々に支えられている。



Tsuchida Tatsuo  
土田達雄さん  
椿・64歳



Komatsu Yoichi  
小松要一さん  
萩生・61歳

## 東部地区公民館

社会教育活動の拠点として、地域住民の理解と協力を高めながら、一人ひとりの意識高揚を促し、生涯学習活動の推進を目指します。



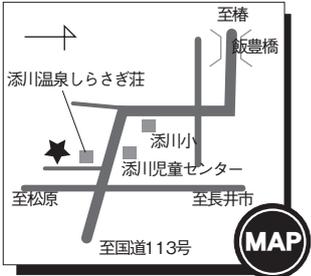
遠藤節子 齋藤徹 手塚利雄

### スタッフ

**公民館長**  
齋藤徹 (松原)  
**運営委員会事務局職員**  
手塚利雄 (添川)  
遠藤節子 (添川)

### 連絡先

大字添川2955  
☎74-2447  
☎87-0447  
✉toubuko@e.jan.ne.jp



### 主な事業計画

事業名	事業名	時期
広報活動	地域住民に地区内の組織・団体の情報を提供し、地域活性化につなげるべく「広報とうぶ」を毎月発行	年間
添川温泉ふるさと祭り	東部地区全住民の参加のもと世代間の交流はもとより親睦・融和を図り地域の活性化を目指す	8月14日
わら細工教室	小学生を対象に、郷土の伝承文化に親しみ、団体行動の中で高齢者と子どもの交流を図る	10月17日
添川小・地区合同大運動会	住民と学校が一同に会し、健康・体力づくりを目指すと共に、地区と学校との交流と親睦を深め地域の活性化を図る	9月13日

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

## 西部地区公民館

地区民主導の運営を積極的に推進しながら地域の独自性を大切にしたい社会教育・生涯学習の充実、体育・スポーツ・芸術文化の振興を図ります。



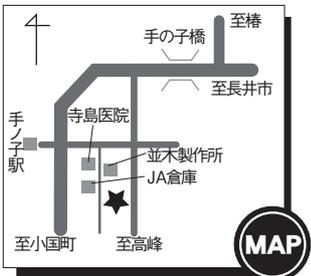
高橋孝 山口健 巻坂恵美子

### スタッフ

**公民館長**  
山口健 (高峰)  
**運営委員会事務局職員**  
高橋孝 (高峰)  
巻坂恵美子 (手ノ子)

### 連絡先

大字手ノ子2861-1  
☎75-2111  
☎75-2273  
✉seibuko@e.jan.ne.jp



### 主な事業計画

事業名	事業名	時期
広報活動	公民館活動について地域住民に広く周知し、理解と協力を得るため、随時「館報せせらぎ」や「お知らせ版」を発行	随時
かもってええ会	学習活動や子どもたちとの活動とともにし、児童の育成を図る	年2回
婦人教室 さわやかクラブ	学習を通じて広く教養を高めると共に、健康で明るい家庭の推進、楽しい仲間づくりを目指す	年間
ふるさと学園	高齢者が自ら地域社会への積極的な参加と生涯学習へ取り組む。また、子どもたちとの交流を通じて、地域文化の伝承に努める	年間

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

## 中津川地区公民館

生涯にわたる学習機会の提供と、地区民が主体的に取り組める環境の整備、青年・女性の地域社会参加の重要性を認識するための学習機会の提供に努めます。



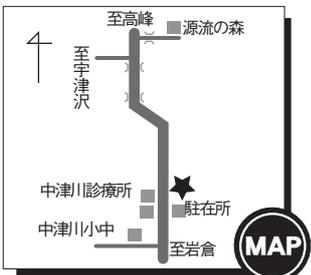
伊藤ふみ 伊藤浩一郎 伊藤清一

### スタッフ

**公民館長**  
伊藤浩一郎さん(小屋)  
**運営委員会事務局職員**  
伊藤清一さん(白川)  
伊藤ふみさん(岩倉)

### 連絡先

大字上原469  
☎77-2020  
☎77-2121  
✉apurekou@e.jan.ne.jp



### 主な事業計画

事業名	事業名	時期
情報の提供事業	地域の話題、情報を発信するとともに公民館活動を広く周知するため「館報あぶれ」を毎月発行	随時
中津川っ子チャレンジクラブ	小学生を対象に料理、工作、季節の行事などいろんなことに挑戦する機会を設置	年2回
地域に根ざす青年団体の育成	積極的に地域に参加できる環境づくりを図る。青年たちの討論の場を設置	年間
地域文化民俗保存活動(中津川の昔を語ろう会)	地域文化民俗の重要性を広く啓もうし、その保存を図る(中津川の昔の暮らし、風習の記録保存)	年間

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

# 平成21年度 地区公民館の事業計画

## 地域の活性化と生涯学習の振興を目指して

各地区公民館では、それぞれの地域の特色を生かしながら、地域の活性化と生涯学習の振興を目指した事業を展開しています。

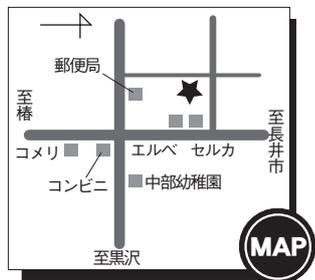
ここでは、平成21年度の事業計画の中から主なものを抜粋して紹介していますが、そのほかにも幅広い年齢層に合わせた様々な事業が計画されていますので、ぜひ多くの住民の皆さんが参加し、地区公民館を中核として地域を盛り上げていきましょう。

### 中部地区公民館

地域のコミュニティづくりの拠点ととらえ、地域住民主体の運営活動を支援し、創造的ににぎわいのある地域づくりとまちづくりを目指します。



新野由希子 樋口久夫 井上克夫



#### スタッフ

**公民館長**  
樋口久夫（萩生）  
**運営委員会事務局職員**  
井上克夫（萩生）  
新野由希子（中）

#### 連絡先

大字萩生3548  
TEL72-2126  
FAX72-3550  
✉tyuubuko@e.jan.ne.jp

#### 主な事業計画

事業名	事業名	時期
情報提供	地域と公民館活動の話題や情報を提供(館報年2回、お知らせ版数回)	年間
かかし祭り	誇れるふるさと、豊かな触れ合いを目指し、子ども会育成会と分館、地域の団体と協力し開催	8月～9月
少年少女のセミナー	小学生を対象にした天体観測など天文台施設の有効活用や七夕祭りの開催	5月～11月
自然触れ合い講座	自然食品や地元産物の加工利用体験を通して生きる力を育む	年間

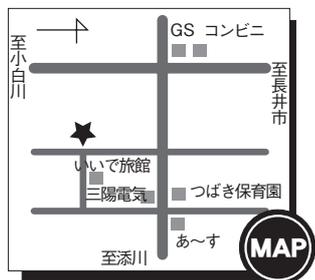
上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください

### 白樺地区公民館

自主的な学習の推進と生涯学習活動の拠点としての役割の充実を目指します。



川崎てい子 佐原正 鈴木孝



#### スタッフ

**公民館長**  
佐原正（椿）  
**運営委員会事務局職員**  
鈴木孝（小白川）  
川崎てい子（椿）

#### 連絡先

大字椿1902-4  
TEL72-2242  
FAX72-3551  
✉tubakiko@e.jan.ne.jp

#### 主な事業計画

事業名	事業名	時期
白樺地区新生活運動	ムリ・ムダ・ムラのない地域社会を目指し、明るく美しいまちづくりを分館を拠点に実施	年間
館報の発行	地域の話題、社会教育・社会体育などの情報を広く住民に提供し、家庭内の話題の拡大を図る	随時
白樺リサイクル会	廃油利用リサイクルせっけん、EM活性液を利用した生ごみ堆肥化など循環型社会の形成に取り組む	年間
花咲く講座	親子が一緒になってスポーツや体験学習を通し、触れ合いを深めながら家庭教育を考える	年間

上記のほか、年間を通して年齢層に合わせた様々な事業が計画されています。詳細は公民館にお問い合わせください



Nagaoaka Koki

長岡幸希さん

中・27歳

町に子どもが増える施策を考えていきたい。そして多くの子どもたちにスポーツの楽しさを伝えたい。



Umetsu Keiichi

梅津啓一さん

萩生・35歳

温かい近所づきあいができるのがこの町の良さ。人と人とのコミュニケーションを大切にすまちづくりを目指したい。

# にぎわい再現プロジェクト委員会



Yashima Masakazu

屋嶋雅一さん

萩生・46歳

「できる」「できない」ではなく、「どうしたら実現するか」を話し合いたい。ほかの市町村の見本になるまちづくりを。



Furuyama Hayato

古山隼人さん

黒沢・31歳

遊園地の遊具の整備など子どもが遊べる環境づくりが大切。子どもたちが元気に遊べる大きな公園があれば人は集まるはず。

# Re-creation of Iide towns Spirit



Ito Terumi

伊藤照美さん

椿・28歳

音楽（ドラミング）を通して町民の皆さんと交流し合い、明るい“プラス”のエネルギーを、この町から発信していきたい。



Horie Morihito

堀江守弘さん

椿・27歳

スポーツを生かした“にぎわい再現”を実現したい。そのためにも委員の皆さんと大いに議論を交わしていきたい。



Ito Shizuka

伊藤志津可さん

椿・27歳

「自分たちの世代が自分たちの町のためにできることはないか」。そんな思いを抱き、プロジェクト委員に応募しました。

# 選ばれた13名



Watanabe Yuichi

渡部雄市さん

小白川・30歳

もっともっと町の魅力をPRして、進学や就職で町を離れた若者が戻ってきたくなるようなまちづくりを考えたい。



Uchi Masanori

大内真法さん

小白川・29歳

私たちの祖父母や父母が培ってきた町の良さを引き継ぎ、次は自分たちの世代が新しい飯豊町の魅力を築きたい。



Umetsu Yuko

梅津優子さん

手ノ子・27歳

飯豊の人たちのピュア（純粋）な心は、町の誇り。大好きなこの町に住み続けられる環境づくりを考えたい。



Takahashi Masaru

高橋勝さん

添川・35歳

物事は一人では出来ない。でも仲間がいれば挑戦することができる。住民が夢と誇りを持てる町にしたい。



Ito Sachio

伊藤幸雄さん

高造路・44歳

今の子どもたちが大人になったとき、どんな町であって欲しいのか。子どもたちの将来を見据えたまちづくりを。



Ito Satomi

伊藤聡美さん

小屋・23歳

私たち若者が町のために何ができるかを考えていきたい。そして若者がこの町に魅力を感じる“仕掛け”を考えたい。

# ついにプロジェクト始動

後藤町長公約の「にぎわい再現プロジェクト」が本格的に始動しました。  
自ら志願し、選考で選ばれた13名の委員。今後、委員の皆さんが議論を尽くし、  
まちのにぎわいを取り戻す計画づくりに着手します—



▲第1回目の委員会には後藤町長も出席し、委員と意見を交わした



▲7月18日には洋上で町の未来を語る「いいで未来号」の出航を控えている

四月二十一日、町民総合センター「あす」で、後藤町長の公約である「にぎわい再現」を実現するためのプロジェクト委員会の初会合が開かれました。公募で選ばれた十三名の委員と町長、町の事務局が出席しました。

町長は会議に先立ちあいさつし、「私の目指す『にぎわい』とは、お祭やイベントなどの一過性のものでなく、日ごろのお母さんたちの井戸端会議や子どもたちの遊ぶ姿など、日常生活のにぎわいを再現することです。目的達成のためにどんな施策が必要なのか、委員の皆さんの型にはまらない柔軟なアイデアをどんどん提案してください」と委員会への期待を述べました。

第一回目の会議では、今後の委員会の進め方や町の担当者は委員の必要に応じて調査やデータ収集にあたることなどが確認されました。さらに、町民や町出身者などから参加者を募集し、七月十八日から二十日までの三日間で計画されている「いいで未来号」の航海に向けた話し合いがなされました。

プロジェクト委員会で策定された「にぎわい再現」に向けた計画や事業は、町長に報告され、承認を受けたのち、町の施策に反映されます。

※洋上で夢を楽しく語り合う「いいで未来号」の詳細については、今回配布されたチラシをご覧ください。

## まちの「にぎわい」に向けて 針路をとれ

## これまでの取り組みについて聞きました



萩生地区ごみゼロ推進協議会会長を務めた

### 後藤昭三さん

ごとう・しょうぞう 中ノ目南

#### 萩生地区を発祥地として ごみゼロ運動を全町へ

各部落の衛生組合長さん、商店の皆さん、第一小の子どもたちと先生方、そして地域住民の皆さんから多大な協力をいただき、事業をやり遂げることができましたことに深く感謝しています。

私も昨年7月と今年3月に、スーパーセルカの前でマイバッグ持参の呼びかけに参加しました。実感したのは、7月に比べ3月ではマイバッグを持参しているお客様が圧倒的に多くなっていたことです。一つの成果の表れと思ひ、うれしく感じたものでした。

「ごみゼロ」という高い目標を掲げて始まった事業でしたが、ごみの減量化には、

各家庭・個人の「環境への意識」が最も重要だと改めて考えさせられました。その意味では、アンケート結果を見ますと、もう少し私たちには努力の余地があるのではと思います。この事業は3月をもって終わったわけですが、これをきっかけとして、萩生地区が発祥の地となり、さらに一歩進んだ資源リサイクルの仕組みが本町にできて「ごみゼロ運動」が町内に広がることを期待しています。



家庭モニターとして協力してくださった

### 木村朝子さん

きむら・あさこ 萩生町

#### 家族のごみ分別の 意識が高まりました

自分の家からどのくらいごみが出ているのが現状を把握してみようと思い、モニターを引き受けました。

以前、夫はなんでもかんでも燃えるごみに捨てる癖がありましたが、モニターをはじめてからは、「このごみはどれに捨てるんだっけ?」と聞いてくれるようになり、ごみの分別に協力してくれるようになりました。今は家族みんながごみの分別に気をつけています。

また、マイバッグ持参での買い物ポイントサービスはとてもうれしかったです。買い物をするのが楽しくなり、今では家

族全員がマイバッグを持つようになりました。できれば今後もポイントサービスを続けてもらえればうれしいのですが…。

家のごみの量を減らすことはなかなか難しいことですが、南極の氷が解けている現状や海水で住んでいる島が沈もうとしている人たちのことを思うと、環境のため自分ができることはしっかりやらなければならないと感じています。

◆問合せ先／役場住民税務課生活環境室

☎72-2111内線131・132・133

## 意識調査

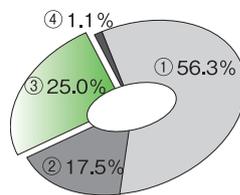
萩生地区ごみゼロ推進協議会では、今年2月に萩生地区民508世帯を対象に、ごみに関する意識調査を実施しました。平成20年2月にも同様に第1回目の意識調査を行っており、約1年間の事業をとおして、ごみに関する意識がどう変化したのか、調査結果よりグラフで表してみました。

※平成21年2月27日現在で、アンケート発送数508世帯のうち回答のあった250世帯（回収率49.2%）について、集計・分析

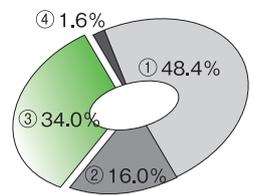
#### ■ 家庭内でごみの分別をしているのは？

- ①いつも決まった人ひとりが行う
- ②いつも決まった人以外と特定の家族が行う
- ③家族みんなが行う
- ④その他・無回答

##### 平成20年2月調査



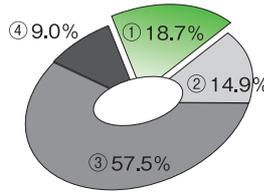
##### 平成21年2月調査



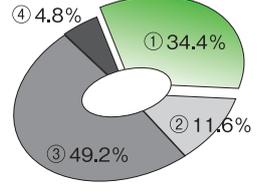
#### ■ 食品トレイの処分方法について

- ①店頭回収
- ②燃えるごみ
- ③資源ごみ
- ④その他・無回答

##### 平成20年2月調査



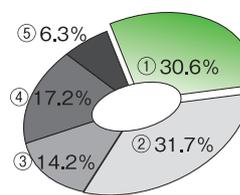
##### 平成21年2月調査



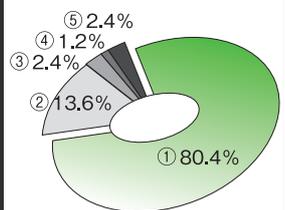
#### ■ 買い物にマイバッグを持参しているか？

- ①常に持参
- ②たまに持参
- ③ほとんど持参していない
- ④まったく持参していない
- ⑤無回答

##### 平成20年2月調査



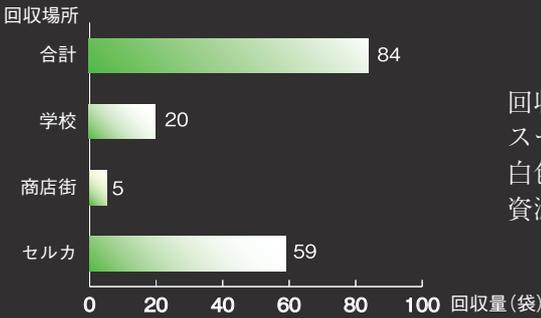
##### 平成21年2月調査



## 白色トレイ回収状況 (7月～3月合計)

目標: 毎月30kg (6,000枚) / 回収結果: 月平均9.3kg (1,860枚)

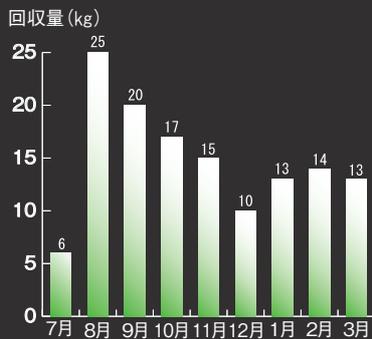
※1枚5gで換算



回収量は、目標値の約1/3でしたが、スーパー、商店、小学校に設置した白色トレイ回収ボックスは資源ごみの収集先として定着しました。

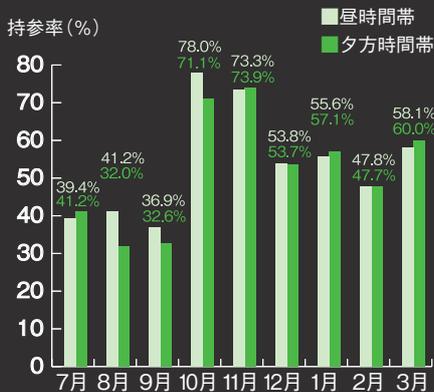
## 牛乳パック回収状況

目標: 毎月30kg / 回収結果: 月平均14.8kg



回収量は、目標値の約1/2でした。8月から12月にかけて回収量は落ち込んだものの、1月から回収量は再び増え始めました。毎月10kg以上の回収量が見込めるようになりました。

## マイバッグ持参運動状況



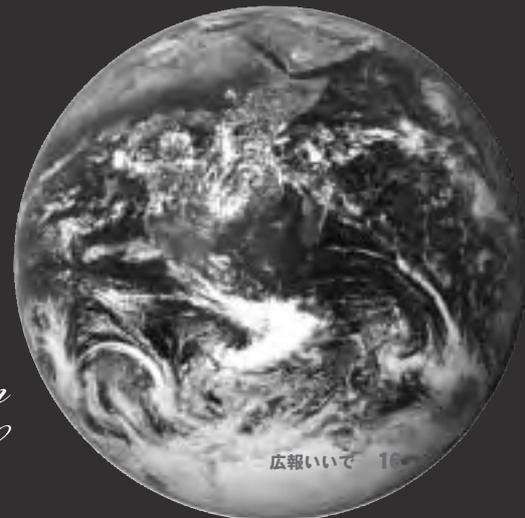
12月以降は50～60%台の持参率です。昼と夕方の持参率はほぼ同率で、中にはマイバッグのほかにもダンボールやレジ袋の再利用をしている方も見受けられました。マイバッグ持参によるポイントカードは784枚が還元され、レジ袋15,680枚が削減された計算になります。

萩生地区ごみゼロアクションプラン結果報告

かけがえのない地球のために、  
できることから始めました。

平成20年7月からスタートした「萩生地区ごみゼロアクションプラン」は、今年3月31日をもって終了しました。この期間、各部落の衛生組合長、商店、第一小の皆さんなど多くの協力を得ながら、ごみの減量化に向けて取り組み、大きな成果をあげることができました。資源ごみ回収実績やアンケート結果などから、その成果を報告します。今後も、萩生地区では住民が主体となり、より一層ごみの減量化に向けた取り組みが推進されることが期待されます。

*Hagiya rubbish 0 action plan  
for beautiful our earth*





## 町福祉用具相談員・住宅改良ヘルパー委嘱状交付

## 私たちにご相談ください

4月6日、堀江勝彦さん(椿)と寒河江秀憲さん(高峰)は福祉用具相談員および住宅改良ヘルパーとして、巻坂孝さん(手ノ子)と手塚健一郎さん(黒沢)は住宅改良ヘルパーとして、それぞれ後藤町長から委嘱状が交付されました。同相談員・ヘルパーはボランティアとして、介護を必要とする高齢者や障がい者の方、その家族の皆さんに、より快適な生活を送るための福祉用具または住宅環境の改良の助言などを行う役割を担います。ぜひお気軽にご相談ください。

## 町食生活改善推進員連絡協議会総会

## 一芸発表で交流深める



5月1日、中部地区公民館で町食生活改善推進員連絡協議会総会が行われました。総会の中で、中村文子会長(手ノ子)は「町民の健康づくりのために皆さんのご協力をお願いします」とあいさつ。総会終了後、推進員の交流を深める目的で、一芸発表会がありました。有志同士でじゃんしゃん体操やフラダンスなど日ごろの練習の成果を披露。参加者は一緒に踊ったりするなどして楽しく過ごしていました。

## 白椿リサイクル会リサイクルせっけん無料配布

## 環境に優しいものを多くの方に



4月12日、町民総合センター「あ～す」で行われた映画「おくりびと」の上映に合わせ、白椿リサイクル会(高橋富子会長・小白川)は自分たちで作ったリサイクルせっけんをお客様に無料配布しました。せっけんは廃食油が原料で、人と環境に優しいものです。多くの方に試してもらいたいと、使い方の説明書を添えて100g入り200個のせっけんを準備。お客様は「ぜひ使ってみます」と受け取っていました。



スポーツ少年団入団式  
(飯豊中体育館)



町内各小中学校入学式  
(町内各小中学校)



飯豊ロードレース大会  
(飯豊中)

まちかどニュースは、皆さんの広場です。  
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。  
総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



四季の歌“春うた”を歌う集い

## 歌って春の訪れを実感

4月19日、町民総合センター「あ～す」で、「四季の歌“春うた”を歌う集い」が行われました。これは、個人でも気軽に合唱に親しめる機会をつくろうと町が主催したものです。講師を声楽家小松伸子さん（長井市）、伴奏を安部里美さん（米沢市）が務めました。町内外から65名が参加し「おぼろ月夜」、「さくら」など12曲を伸び伸びと気持ち良さそうに歌い上げました。集いは、今後も夏・秋・冬とそれぞれ開催する予定です。



中津川地区水仙ロード手入れ作業

## 地域でつくる美しい景観



4月24日、中津川地区で地域住民による水仙ロード手入れ作業が行われました。これは観光シーズンを迎えるにあたり、景観づくりの一環として毎年実施されているものです。中津川小中学校の児童・生徒16名と住民など約80名が参加し、とよさと荘から学校までの県道沿線5km以上にわたり除草やごみ拾い、施肥作業などを行いました。参加者は、水仙をいたわりながら作業に汗を流していました。

町消防団辞令交付式

## 消防団員の自覚と誇りを持って



4月5日、町民総合センター「あ～す」で町消防団辞令交付式が行われました。式には団員や関係者など約120名が出席。今年度は、新たに26名の方が入団しました。新入団員を代表して手塚裕樹さん（萩生・第1分団第2部第1班）が、消防団員としての業務遂行の誓いを宣誓しました。また、岡田美樹雄団長からは「消防団員としての自覚と誇りを持って、町民の期待に応えて欲しい」との訓示がありました。



教育文化課  
子育て支援室からのお知らせ

今年4月から保育園保育料の算定基準を見直しました。これは、保護者の皆さんの経済負担の軽減と少子化対策の一環として町が独自に行うものです。

- ①幼稚園・保育園に2人以上同時入園している場合、第2子分の保育料は½に、第3子以降の保育料は無料になります
- ②所得税非課税の母子世帯の保育料を2,000円引き下げます
- ③所得税課税世帯の一部の保育料を2,000～7,500円引き下げます

こどもみらい館の予定表  
(5月・6月の日程)

- 5月19日(火) 10:30～ あそびの広場
- 22日(金) 10:00～ タッチケア  
対象/0歳児(2カ月以上の赤ちゃん)  
持ち物/大きめのタオルと着替え
- 28日(木) 10:30～ かんがるー広場
- 6月 4日(木) 10:30～ 親子でリトミック
- 6日(土) 10:30～ ブックスタート広場  
対象/平成21年1月生まれのお子さん
- 9日(火) 10:30～ あそびの広場

●▲子育て講座「親子でリトミック」▲●

- ◇日時/6月4日(木) 10:30～11:00
- ◇場所/町民総合センター「あ～す」
- ◇対象児/3歳児親子
- ◇内容/音楽のリズムにあわせて体を動かし、表現力、集中力、協調性などを養います
- ◇講師/小松伸子先生、島貫庸子先生

●役場教育文化課子育て支援室

☎72-2111内線160、163

●こどもみらい館

☎72-3336



今月のおすすめ図書

児童図書

「ひみつのカレーライス」

田中清代/絵 井上荒野/作  
アリス館

庭に埋めたカレーの種。やがて芽が出て、お皿の葉っぱに、福神漬けの花が咲き、ライスの実とカレーの実がなって…。はてさて、そのあとは？ 愉快的カレーライスの絵本。

児童図書

「うそつきにかんぱい！」

ホリー・ケラー/作 福本友美子/訳  
光村教育図書

おかしいことを言うようになった信也の大ばあちゃん。話をあわせることができず困った信也は、植木屋の「ほらふきおじさん」のところへ行きました。おじさんは信也に「やさしいうそ」の話をしてくれて…。

一般図書

「橋をかけるー子供時代の読書の思い出」

美智子/著 文藝春秋

「読書は私に、悲しみや喜びにつき、思い巡らす機会を与えてくれました」。皇后さまが自身の読書の思い出を語りながら、時代を顧み、子どもたちに将来の希望と平和を祈る。世界に感動を与えた2つの講演を収録。

一般図書

「それでも、世界一うまい米を作るー危機に備える俺たちの食糧安保」

奥野修司/著 講談社

世界を食べ尽くす中国の脅威。日本が安全な食糧を買えなくなる日、あなたは？ 生産者と消費者をつなげ、食糧難がきても耐えられる農業の再生を追求し「世界一うまい米を作る」と宣言したグループの試みに迫る。

●開館時間 午前9時～午後5時

●休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始

●問合せ先 町民総合センターあ～す図書室

☎72-3111

## 直伝おふくろの味



## りんごのトルテ

親子で作る簡単ケーキ

【材料】(15センチ四方の耐熱容器一つ分)

◇りんご

中2個

◇卵

1個

◇砂糖

80g

◇無塩バター(ケーキ用マーガリン可)

80g

◇薄力粉

80g

◇アーモンドパウダー

20g

◇ラム酒

少々

◇ベーキングパウダー

小さじ1杯

◇シナモン

少々

◇バニラエッセンス

適宜

【作り方】

①皮をむいたりんごを8分の1に切り、

5ミリの厚さにいちよう切りにする

②薄力粉はベーキングパウダーと合わせ

てふるっておく。バターは湯煎して溶かしておく

③ボウルに卵と砂糖を入れて白っぽくなるまで泡だて器で混ぜる

④③に①、②、アーモンドパウダー、ラム酒、バニラエッセンスを入れて、手早くさつくりと混ぜる

⑤④をクッキングペーパーを敷いた型に流し入れ、表面をならし、シナモンパウダーをふりかける。オーブン

中段170度で40〜50分焼く。串をさしてすつと抜ければ出来上がり

※生焼けの場合は、アルミホイルをかぶせてさらに5〜10分焼く



黒沢地区  
食生活改善推進員  
古山幸子さん

お子様と一緒に  
作ってみてください

お菓子作りが得意な川西町の姪っ子から教わった簡単にできるケーキです。遊びに来る孫には、少しでも手作りのおやつを食べさせたくて、よくこのケーキを作ります。甘さがちょうど良いようで、子どもたちは喜んで食べてくれます。

りんごは、冬の間、食べずに残ってしまった古いものを使います。もったいないし、これで十分です。また、水にさらしたり、煮る必要もありません。そのまま切ったものを使ってください。ご覧のとおり、難しい調理方法はありませんので、お子様と一緒にお菓子作りを試してみたいなあ、というときはこのケーキから試してみたいかがでしょうか。



# ルエッセー 校長室便り

## 「第一小の宝物」

第一小学校 大道寺高明校長

### Profile

だいでうじ・たかあき  
1951年1月、長井市生まれ。  
荒砥小(白鷹町)、手ノ子小  
校長などを経て08年4月より  
当校に着任。趣味は凧  
(たこ)づくり。教育者としての  
モットーは、子どもの  
良いところを見つけ、自信  
を持たせ、伸ばしてあげる  
こと。長井市在住



長井から手ノ子まで通勤していた一昨年までの三年間、時折目にしていたのが、第一小の子どもたちが道路を横断する姿である。

横断しようと待っている子どもを見ると、ほとんどの車は彼らを渡すために止まることになる。すると班長が旗を持ち小走りに道路中央に立ち、旗を横に掲げて子どもたちを通す。そして班長も渡って列に入り、全員道路の方を向いて一列になり、止まってくれたすべての車一台一台の運転手に向かって「ありがとうございました」の声と共にお辞儀



運転手へお礼のお辞儀をする児童たち

をしてくれるのであった。そのあいさつと出会った一日は、何とも爽やかな気持ちで過ごすことができたことを思い出す。

それは、今現在も続けられている。車の側からの交通安全が叫ばれ、歩行者はそれを享受することの多い安全運動であるが、まさにこれは歩行者側からのそれであると言える。運転手は当然規則として遵守している停止であるが、あらためて感謝の言葉とお辞儀は運転手に快さと同時にその規則を強く意識させる安全運動であり、何よりも強い運転者へのメッセージでもある。今日も、車高を低くした車の若い男性が乗った車まで礼を返してくれた。いつまでも続けていきたい第一小の子どもたちの大切な宝物である。

### 連載

## 町長の随想 町長の見て歩き②

### 「公用車」

就任前と就任後で大きく変わったことの一つに車の運転がある。

町長の公務では自分で運転する機会はあまり無く、運転長が運転する公用車で移動する。初登庁で自宅を出発するとき、慣れない私は乗るべき位置の反対側に乗ってしまった。お見送りの方が多い方の座席に座ってしつかり挨拶をしなければということばかり頭にあったからだ。役場に到着してから気が付いたが後の祭り。たくさんのカメラがこちらを向いている。ここで慌ててはいけないとにこやかに手を振って降りてはみたが実は気が気でなかった。

民間人当時、各種の研修会やシンポジウムに参加することが少なくなかった。その会場で「役所が中心ではなく一般の社会人が主役なのだ」と声高々に訴えた役所側の当人が会議の終了とともに黒塗りの公用車でさっそうとその場を立ち去る姿を目の当たりにして、何か違和感を覚え

たものだ。

さて黒塗りの公用車は是非か？

町長の日程は結構過密である。朝八時十分に自宅を出て役場に到着すると、総務企画課から一日の公務日程の説明を受ける。その途中に急ぎの連絡が入ることもあり矢継ぎ早に判断を迫られることも少なくない。

したがって車での移動時間に次の会場での会議のポイントを整理することもたびたびで息つく間も無いことも多い。いわば動く町長室の役割が確かにあって、そんな理由からせめてゆとりの大型車になったのかなと配慮に感謝したりもする。それでも公用車が黒の礼装をする必要性には意見が分かれるだろう。町民の目線にかなう利用の仕方しなければと思う。

もし事情が許されるならもつと気軽に町に出て現場に飛び込みたい。そんなときは公用車もふだん着の車がふさわしいと思うのである。

後藤 幸平





「これからも堅実な経営をしていきたい」と語る長岡利英さん

## 米沢牛枝肉共励会最優秀賞

### 長岡利英さん生産の黒毛和牛が見事輝く

4月2日、米沢市食肉市場で米沢牛枝肉共励会が行われ、本町の長岡利英さん（中）が生産した黒毛和牛が見事最優秀賞に輝きました。

出品した牛は、長岡さんが栃木県の子牛市場で自ら見立て購入し、丹精込めて育てた雌牛でした。枝肉の重量は440キログラムで、1キログラム当たり7,354円の高値でせり落とされました。

長岡さんは、和牛の肥育と家畜商を営っていますが、近年は、飼料代の高騰などで畜産業界は厳しい状況にありました。そんな中での最優秀賞でした。

「まさかの入賞でとても驚きました。私がいないうちに、給餌などを手伝ってくれた父親のおかげだと思っています」と長岡さんは謙虚に受賞の感想を語ってくださいました。さらに「畜産は市場原理の中で、景気の良いときと悪いときがはっきりしています。米沢牛というブランドにあぐらをかかず、堅実な経営をすることが大切だと思っています」と話してくださいました。

## 平成21年度町部落長会総会

### 部落長会会長に小田俊良さんを選出

4月21日、町民総合センター「あ～す」で、平成21年度町部落長会総会が行われました。

総会開会に先立ち、部落長通算4年以上歴任され、平成20年度限りで退任された11名の方に対して、後藤町長から感謝状が贈呈されました。

総会の中で、後藤町長は「にぎわい再現に向けた事業が本格的に始まります。一つひとつの地区や部落が活気づけば町全体が元気になります。部落長の皆さんのご協力をお願いします」とあいさつしました。

また、各地区から選出いただいた委員で組織する選考委員会にて、今年度の部落長会会長に小田俊良さん（東部地区・上町）、副会長に手塚紀雄さん（萩生地区・萩生町）、川崎武彦さん（手ノ子地区・向原北）、伊藤忠さん（中津川地区・川内戸）がそれぞれ選出されました。小田会長は「新役員の皆さんと共に、各部落長さんと協力しながら飯豊町の発展のためにがんばります」とあいさつを述べられました。



鈴木春夫さんをはじめ11名の前部落長さんに後藤町長から感謝状が贈呈された

#### 【感謝状贈呈者】

- |                      |  |
|----------------------|--|
| ○鈴木春夫さん<br>（中ノ目南／8年） | ○鈴木満昭さん（萩／5年）<br>○高橋洋一さん<br>（高野・寺分／4年） |
| ○近野一郎さん（町上／6年）       | ○嘉藤守さん（町西／4年）                          |
| ○細谷芳弘さん（南新田／6年）      | ○志田博胤さん（小原／4年）                         |
| ○安部晴男さん（厚生／5年）       | ○二瓶茂則さん（下町／4年）                         |
| ○志田昭一さん（向原／5年）       | ○渡部孝晴さん（下川原／4年）                        |

戸籍の窓

(4月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(黒沢 手塚 力也さん 高島町 森 美乃莉さん)	
(長井市 鈴木 智皓さん 高峰 伊 藤 あけみさん)	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
中渡部 准輝くん	(賢香 一織)	
小川 小野 美鈴ちゃん	(誠祐 庸美)	
添川 鈴木 唯斗くん	(幸ルミ 則子)	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
中 中西 曳地 吾平さん		83
中 南新田 佐藤 正人さん		42
萩生 中/臈渡 部 志つさん		90
小白川+文字 船山 明洋さん		44
添川 上代 山口 清吉さん		91
添川 昭和 井上 武夫さん		90
添川 明松 田 なつさん		91
添川 明志 田 さださん		89

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

4月分 ( ) 内は対前月比			
世帯数	2,401 ( 3)	転入	22
人口	男 4,068 ( -9)	転出	25
	女 4,317 ( 1)	出生	3
計	8,385 ( -8)	死亡	8

◆お詫びと訂正  
四月九日号の中に次の誤りがありました。  
▽九ページの佐藤教育長のプロフィールにありました「米沢市立松川中」は「松川小」の誤りでした。▽十三ページの平成二十一年度町政と予算にありました「特別会計決算」は「特別会計」の誤りでした。  
訂正しお詫び申し上げます。

障がいのある子どもの発達相談(要予約)

「見え方、聞こえ方が心配だ」「ことばが遅れているようだ」「就学について困っている」など、保護者の皆様のご相談にお答えします。

- ◆日程
  - 6月16日(火)…県立米沢養護学校(米沢市)
  - 6月22日(月)…長井市置賜生涯学習プラザ
- ◆対象者/障がいのあるまたはその心配のある幼児・児童・生徒とその保護者
- ◆相談員/県立特別支援学校教員および公立小学校特別支援学級担任など
- ◆料金/無料
- ◆申込方法/下記まで電話で申し込み
- ◆問合せ先/山形県教育センター ☎023-654-6060

めざみの里観光物産館 鳴き砂展示コーナーオープン

めざみの里観光物産館に飯豊の鳴き砂関連グッズを揃えた展示・体験コーナーがオープンします。ぜひお越しください。

- ◆日時/5月30日(土) 10:00~ (オープニングセレモニー)
- ◆場所/めざみの里観光物産館2階 テーマ館
- ◆内容
  - 町内の小学生から募集し、決定した展示コーナーの名称を発表
  - ワークショップで砂絵作り (定員10名・参加費無料)
- ◆申込・問合せ先/役場産業振興課商工観光室 ☎72-2111 内線252

家屋補修技能(内装)の受講者を募集します

- ◆講習期間/6月16日(火)~25日(木)
- ◆会場/シルバー人材センター(長井市)
- ◆講習内容/壁紙・襖・障子・カーペットタイルの張り替え方法など
- ◆募集人数/20人(応募多数の場合は抽選)
- ◆対象/60歳代前半の方
- ◆受講料/無料
- ◆申込方法/官製はがきに住所・氏名・生年月日・年齢・電話番号を書いて申し込みください
- ◆募集人数/6月5日(金)
- ◆申込・問合せ先  
〒993-0003 長井市東町2番12号  
(社)長井・西置賜地域シルバー人材センター ☎84-4535

高齢者総合相談センター

山形県高齢者総合相談センターでは、高齢者の皆さんの心配事相談を行っています。お気軽にご相談ください。

- ◆一般相談
  - 相談日/毎週月曜日~金曜日
  - 時間/9:00~17:00
  - 内容/日常生活の心配事など
- ◆専門相談(要予約)
  - 時間/13:30~16:00
  - ①法律相談(弁護士)…毎週月曜日
  - ②税金相談(税理士)…隔月第1水曜日(偶数月)
  - ③認知症相談(社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士など)…毎週火・金曜日
- ◆申込・問合せ先/山形県高齢者総合相談センター ☎023-622-6511

◇町の交通安全の状況について問うた今回の特集集している最中の大型連休中、町内で酒気帯び運転による交通事故が新聞報道されました。県外からお越しになり、被害に遭われた方にはお見舞い申し上げますとともに、やるせない現実になり怒りを通り越して悲しくなりました。連休中のこと、子どもが巻き込まれていたら…。交通安全協会の後藤会長が言う「飲んだら乗らない」という当たり前のことを守られる日はいつになつたらくるのでしょうか。(横山)



**飯豊町役場**

電話 0238-72-2111  
FAX 72-3827  
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp  
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

**農業用機械の運転にご注意ください**

農繁期には農業用機械による事故が多発します。十分にご注意ください。

◆事故を防止するために

(自動車との安定性が違います)

- ①車両の特性を理解した運転をしましょう
- ②気を引き締めて運転をしましょう
- ③運転操作は慎重に行いましょう
- ④道路状況に応じた運転をしましょう
- ⑤ヘルメットを被るなど、不測の事態に備えましょう

※田畑から道路に出る際は、土砂などをしっかり落としましょう。また道路を汚した場合は、きれいに掃除をしましょう。雨の日は滑って特に危険です。

◆問合せ先／役場産業振興課農業振興室 ☎72-2111内線263

**農業経営実践講座 受講生募集**

- ◆開講式／5月28日(木) 13:30～
- ◆対象者／新規就農者や農業経営の向上を目指す農業者
- ◆開講講座
  - ①新規就農者講座
  - ②野菜づくり講座
  - ③新規枝物花木づくり講座
  - ④さくらんぼづくり講座
  - ⑤乳牛・肉牛の飼養管理講座
  - ⑥パソコン経営管理講座
  - ⑦農産加工講座
- ◆受講料／無料(教材費、交通費などは実費負担)
- ◆申込期限／5月22日(金)
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆申込・問合せ先／西置賜農業技術普及課(安部・古賀) ☎88-8214

**わくわく♪ぐりぐら広場**

楽しいお話をたくさん用意して皆さんの参加をお待ちしています。お話好きな子集まれー!

- ◆日時／5月31日(日) 10:30～
- ◆会場／こどもみらい館
- ◆内容／〇お話を聞こう(絵本・紙芝居など) 〇作って遊ぼう(工作)
- ◆対象／3歳から小学3年生まで
- ◆参加費／無料
- ◆参加方法／下記まで電話で申し込み
- ◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」図書室 ☎72-3111

**高校再編にかかる地域説明会のご案内**

西置賜地区の高校再編整備にかかる地域説明会を開催します。

- ◆日時／5月22日(金) 19:00～
- ◆場所／町民総合センター「あ～す」
- ◆内容／高校再編成にかかる検討の進め方の説明と質疑応答
- ◆参加方法／直接会場にお越しください
- ◆その他／託児サービス(無料)を実施します
- ◆問合せ先／山形県教育庁高校教育課 高校改革推進室 ☎023-630-3067

**飯豊町敬老号**

**高野山～瀨峡めぐり南紀州の旅**

町老人クラブ連合会主催の「高野山～瀨峡めぐり南紀州の旅」に若干の残席がございます。ぜひご参加ください。

- ◆期日／6月10日(水)～12日(金)
- ◆代金／77,800円
- ◆定員／10名(先着順)
- ◆申込締切／5月20日(水)
- ◆申込・問合せ先／町老人クラブ連合会(町社会福祉協議会内) ☎72-3353

**定額給付金・子育て応援特別手当の申請について**

定額給付金と子育て応援特別手当の申請はお済みでしょうか?役場にて受付をしておりますので、まだの方はお早めに申請してください。

- ◆受付場所／役場住民税務課住民室(役場庁舎1階)
- ◆受付時間／8:30～17:00(土日、祝祭日を除く)

◆必要書類

- ①証明書の写し／申請者であることを確認できるものの写し(住民基本台帳カード、運転免許証などの写し)
- ②通帳の写し／振込先口座の金融機関名、口座番号、口座名義人(カナ)が分かる通帳やキャッシュカードの写し
- ※郵送の場合は、必要書類を添付のうえ、返信用封筒で申請ください。役場で申請される場合は、証明書と通帳をご持参ください。

◆問合せ先

- 定額給付金／役場総務企画課総合政策室 ☎72-2111内線226
- 子育て応援特別手当／役場教育文化課子育て支援室 ☎72-2111内線160

**どんでん平ゆり園 除草ボランティア募集**

どんでん平ゆり園では、園内の除草を手伝ってくださるボランティアの方を募集しています。

- ◆条件／性別年齢を問いません。町民の方は、だれでも参加できます
- ◆日時／5～7月の土・日曜日 午前6:00～7:00 ※都合の良い日にお越しください
- ◆申込・問合せ先 (有)どんでん平ゆり園 ☎78-5587



## いいで天文台

### 5・6月の公開日

◎昼間（14：00～16：00）

— 太陽、金星などの観察 —

5月27日㊦、6月10日㊦、6月24日㊦

◎夜間（19：00～20：30）

— 星座、月、土星、星雲・星団の観察 —

5月16日㊦、5月23日㊦、5月30日㊦

6月3日㊦、6月17日㊦、6月21日㊦

6月24日㊦、6月31日㊦

※晴れ間のあるときのための公開となります。  
上記の公開日以外でも予約申し込みで天文台を利用できます。

### 料金

中学生以上／200円

小学生／150円

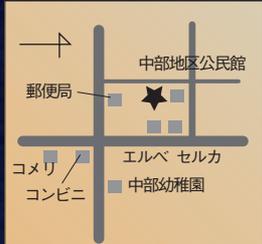
乳幼児／無料

※10人以上は団体割引があります。

### 申込・問合せ先

役場教育文化課生涯学習振興室

TEL72-2111内線160



【五月と六月の天文現象】  
今年は十五年ぶりに土星のリングが見えなくなります。  
今がリングの見ごろです。  
春の代表的な星座の一つしし座が南の空高く輝いています。

# いいで夜空物語 春編

冬の間、見上げることの少なかった夜空

まるで眠りから目覚めたようにして

満天の星たちが地球に向かってきらめいている

「いいでに春がやってきたよ」と

語りかけているかのように

さあ、春の星空をもっと間近で見てください

星たちが教えてくれることはもっとたくさんあるから

いいで夜空だからこんなにスケールが大きくて

こんなに星に近づけることをその目で実感して欲しい

いいで天文台で待っているから…

【優秀賞作品】



## 皐月田の朝

(撮影場所/萩生地内)

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

### 撮影者

### 齋藤徹さん (松原)

賞をいただきありがとうございます。昨年4月から1年間、早春から厳冬まで飯豊町の自然風景を撮り続けてきました。春夏秋冬の季節も心に残る景観が待っていてくれました。町の風土が持つ情趣性がいつまでも途絶えることのないようお願いしながら見守っていきたいと思います。

### 写真家 佐藤秀明先生の講評

飯豊町を代表する風景の一つです。それだけに多くのカメラマンによって撮られています。しかし同じ作品は一つもありません。その日の天気、時間、使用カメラやレンズ、そして撮影者の目などによってまちまちですが、共通しているのは朝早く起きなくてはいけないことですね。さらにいいチャンスを狙って努力してください。

